２０１９年　　月　　日

認定支援機関確認書

全国中小企業団体中央会会長　殿

京都府地域事務局長　殿

認定支援機関ID番号

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

住　　所

名　　称

代表者役職

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　 ㊞

平成３０年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金に係る

認定支援機関による競争力強化並びに支援に関する確認書

|  |
| --- |
| １．事業者名  ２．事業計画名  ３．認定支援機関担当者名  ４．認定支援機関電話番号  ５．認定支援機関担当者メールアドレス |

（１）競争力強化が見込まれる事項と主たる理由

上記の事業者が作成した事業計画書について、以下のとおり競争力強化に資することが見込まれることを確認しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 競争力の強化が見込まれる事項 | 主たる理由（事業計画に対する改善提案の経緯等も記載してください） |
| ①　生産コスト面での競争力強化が期待できる |  |
| ②　製造能力面（リードタイムを含む）での競争力強化が期待できる |  |
| ③　品質、性能、機能、デザイン等の面での競争力強化が期待できる |  |
| ④　製品・サービスに新規性があり市場訴求力の高さが期待できる |  |
| ⑤　対象とする市場について今後の進展が期待できる |  |
| ⑥　ユーザー（市場・消費者等を含む）のニーズを捉えた開発・投資で販売の進展が期待できる |  |
| ⑦　資金計画の確実性（金融機関からの理解が得られている等）が期待できる |  |
| ⑧　その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

（２）支援計画についての誓約

当該事業者が本事業を円滑に実施できるよう事業実施期間中その支援に責任を持って取り組みます。さらに、採択後も円滑に補助事業が終了し事業化できるよう、下表に示す支援計画のとおり、事業者のニーズを踏まえ、事業化状況報告期間の最終報告まで、よろず支援拠点の活用等を含めて一貫した支援体制で取り組みます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　期 |  | 支援計画（予定） |
| 目標とする  事業化段階 |
| 補助事業実施期間中 |  |  |
| 補助事業終了１年後 |  |
| 補助事業終了２年後 |  |
| 補助事業終了３年後 |  |
| 補助事業終了４年後 |  |
| 補助事業終了５年後 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業化段階 | 定　義 |
| 第１段階 | 製品・サービス等の販売活動に関する宣伝等を行っている |
| 第２段階 | 注文（契約）が取れている |
| 第３段階 | 製品・サービス等が１つ以上販売されている |
| 第４段階 | 継続的に販売実績はあるが利益は上がっていない |
| 第５段階 | 継続的に販売実績があり利益が上がっている |